

1. 施設理念

ル・ソラリオン葛飾は、葛飾に根ざした高齢者福祉施設として日常生活において介護を必要とする高齢者が、地域の中で自分らしく生きる家として専門性の高い個別ケアに基づく入所サービスならびに在宅サービスを提供する。

2. 施設方針・テーマ

『地域のなかで高齢者が生き生きと住み続けられる家（「陽の当たる場所」）として、ご家族とともに愛のあるケアを提供していく。』ケアの提供にあたって、職員は丁寧に考え、誠実に対応する。

◆個別ケア

全室個室のユニットケアの特徴を生かして、日常生活の中で、利用者の意思・人権を最大限尊重し、利用者が個々の生活リズムに合わせて、その人らしい生活を送れるよう良質な個別ケアを提供し支援する。

◆チームケア

他の人に対する思いやりと深い知恵を兼ね備えた介護、医療、リハビリ、栄養、相談、事務すべての職種の職員が専門家として各々の専門性を発揮しつつ、家族とも協力し全体でひとつのチームとして利用者の介護を行うという認識を持ってチームケアを提供する。

◆安全・安心

きめ細かい健康管理を実施し、安心できる医療体制のもと、自分らしい生活をおくって頂ける様支援をする。リスクマネジメントを徹底させ事故のない安全で、安心な施設を目指す。

◆経営の安定・透明性と賢い職場環境

適切な稼働率管理を行い ISO9001 定着による業務の標準化及び継続的改善を進め、経営の安定化を図るとともに、第三者評価の受審、結果公表を通じて経営の透明性を確保する。また、経営を安定させるとともに、職員の心が安定して誇りを持って仕事に取り組む環境を整備し、良いサービスを提供する。

介護人材不足に対応するため、介護留学生を受け入れ、サービスの向上を図る。

◆地域連携

葛飾に根ざした施設として、地域社会との関係を深めボランティアなど地域の人的資源を受け入れるとともに地域に貢献できる施設を目指す。

3. 実施事業及び定員

(1) 介護老人福祉施設	定員 140名
(2) ショートステイ	定員 20名
(3) ケアハウス	定員 20名
(4) 認知症対応型デイサービス	定員 12名
(5) 居宅介護支援事業	定員 35名

4. 重点事項

抱負・目標

アメリカの詩人サミュエル・ウルマンの「青春」という詩に「人は歳を重ねても老いることはない。理想を失ったときに老いる。」という一説がある。敬仁会の職員は理想をもった集団であり、以下の実現に全力を傾注する。

施設経営の更なる安定化を目指すと共に、“ユニットケアによる個別ケアの提供を行う施設である”という開設の原点を忘れず、今まで培った基本的な介護サービスを提供する能力の基盤の上で利用者の生活の質（QOL）の向上をめざす。

また ISO9001 を施設運営のバックボーンとして定着させ、サービスの質を維持するとともにより良いサービスを目指して常に改善を行う。

「人生をゆっくり楽しもう」という「スローライフ」の考え方を理解し、利用者のことを丁寧を考え、誠実に対応することを心がける。

メリハリのあるサービスを提供できる「技量の質」、利用者に対する「思いやりと深い知恵」を兼ね備えた職員を育成し、賢い職場環境を構築する。

敬仁会のもつ、優しさ、勤勉さ、思いやりの心を伝承しつつ、ユニークな考え、チャレンジする発想、周りの目を恐れない孤高の精神をもつ職員を育成するための組織風土を構築する。

介護職員の人材確保と職員の定着率の向上を図り、職員の定着増を果たすことによって利用者に、より満足のいただけるサービスを提供する。

人口減少、少子高齢化の流れが急速に進み介護部門でも、構造転換が余儀なくされている。

「進取の気性をもって、変わることを恐れない」を合言葉に、変化に対応していく。

また、働き方改革の理念「ワークライフバランスと生産性の向上が共に達成されること」を踏まえて、全職員が生き生きと働き続けられる職場づくりを推進する。

コロナ禍にあっても、利用者のために創意工夫をし、サービスの向上に努める。

(1) 人事育成と職場定着

◆ 職員の定着率の向上を図る。

目標) 離職者を定数の10%以内にする。

働きやすい職場環境づくり

仕事と家庭の両立

◆ 個人目標管理システムの有効活用

目標) 達成度総合評価が平均値3以上になる。

◆ 研修による知識・技術の習得を通じ専門職としてのレベルアップを図る。

目標) 各職員が各自の必要や希望に応じて選択できる各種研修が用意され、

職員は研修を通じて研鑽し力量評価(職務基準書による)が向上する。
テレビ会議を活用し職員の能力向上を図る。

- ◆ 外国人労働者の活用
目標) インドネシア介護留学生の戦力化
- ◆ 介護福祉士養成校との連携強化・実習先との連携強化
- ◆ ロボットを活用し、職場の魅力を高め優秀な職員の確保を図る。

(2) 利用者へのサービス提供(顧客満足・質の向上)

- ◆ ユニットケアに基づくより良い個別ケアの実施。
目標) 利用者個々のレベルに合わせたレクリエーション・行事を提供する。
- ◆ 認知症ケアの充実。
目標) 利用者が心穏やかに毎日を過ごす事が出来る。
- ◆ 身体拘束廃止を目指した取り組みを定着させる。
目標) 身体拘束件数をゼロを継続する。
- ◆ ターミナルケアの充実を図る。
目標) 利用者が苦痛なく心穏やかに施設内で最期を迎えることが出来る。
- ◆ 介護機器を活用し利用者のサービス向上に努める。
- ◆ ISO9001 の定着および継続的改善。
目標) 是正および予防処置による改善を図る。
- ◆ 外部評価受審によるサービスの質の向上。
目標) 第三者評価機関による評価の向上を図る。

(3) リスク対策(感染・安全・災害等)

- ◆ リスク管理(防災、事故防止、感染防止)の徹底。
目標) 感染症の発生・蔓延を防止する。
- ◆ 大規模災害時に於ける事業継続可能な体制の構築
目標) 非常食、防災備品を適正に管理し防災訓練を実施し職員の意識・経験値を高め災害に備える。
- ◆ 転倒による介護事故の防止
目標) レベル3の事故の減少

(4) 施設・施設整備

- ◆ 大規模災害時に於ける事業継続可能な体制の構築
目標) 非常食、防災備品を適正に管理し防災訓練を実施し職員の意識・経験値を高め災害に備える。
- ◆ 建物の経年劣化に対処すると共に利用者に提供するサービスの質の向上に資する設備整備を実施する。

(5) 地域連携・社会貢献

- ◆ 介護教室「ソラ葛安心介護塾」の発展的継続。
目標) 年間4回程度開催し前年度以上の参加者がある。
- ◆ 地域自治体および中青戸町内会との防災協定締に基づきより連携を図る。
- ◆ 葛飾区ボランティアセンターとの連携を強め、更に地域ボランティアを充実させる。

(6) 経営管理

◆ 目標稼働率の達成。

目標利用者数（稼働率）

・介護老人福祉施設	135.0名 (96.4%)
・ショートステイ	14.0名 (70.0%)
・ケアハウス	19.7名 (98.5%)
・認知症対応型デイサービス	7.0名 (58.3%)
・居宅介護支援事業	33.2名 (94.9%)

◆ 経営の合理化・効率化と経費の削減。

事業ごとに現状および課題の把握を行い適切な事業運営を目指す。

目標) 職員は自らが関る事業の収入・支出の現状を認識し稼働率向上や経費節約の為に工夫を実践する。

5. 新規事業

なし。

6. その他

なし。